

第5回宅配水業界交流展開催

2018年6月7日

日本宅配水&サーバー協会
広報委員会 座長 丸尾裕之

本年も恒例となっております宅配水業界交流展をサンライズビル東京で開催致しました。前日の6月6日に関東地方の梅雨入りが発表されましたが、当日は天候にも恵まれ、国内外25社27ブースのご出展者様から様々な宅配水業界にまつわる商品、サービスのご紹介がありました。

ご来場者数は業界関係者や報道関係者様を中心に400名を上回り、盛況のうち終わることができました。

正会員のサーバー紹介ブースでは、サーバー委員会が推奨している「乳幼児火傷事故防止対策」に適合した機種を展示。登録機種一覧なども掲示して、宅配水業界をあげて安全対策の高まりが深まっていることが紹介されました。

講演ブースでは、午前中はサーバー委員会が中心となり「消費電力の表示方法の統一化」に向けた計測方法の発表があり、2019年3月末までにその計測方法を統一することの広報を開始するとともに、ご協力いただいている日本文化用品安全試験所様からその計測方法や重要性などを中心にご講演を頂戴しました。

午後からは製品水委員会が中心となり「食品衛生法などの一部改正案」を中心に発表があり、その中でも特に関心の高い「HACCP義務化」について、当協会と業務提携をしておりますNPO法人HACCP実践研究会様より、国の動向や現状の方向性などのご講演を頂戴いたしました。

来年度の交流展は2019年5月17日(金)、東京都立産業貿易センター台東館にて開催予定です。本年よりも規模を拡大して開催を予定しておりますのでご期待ください。

第5回宅配水業界交流展 会場風景

